

JCD KANSAI

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会

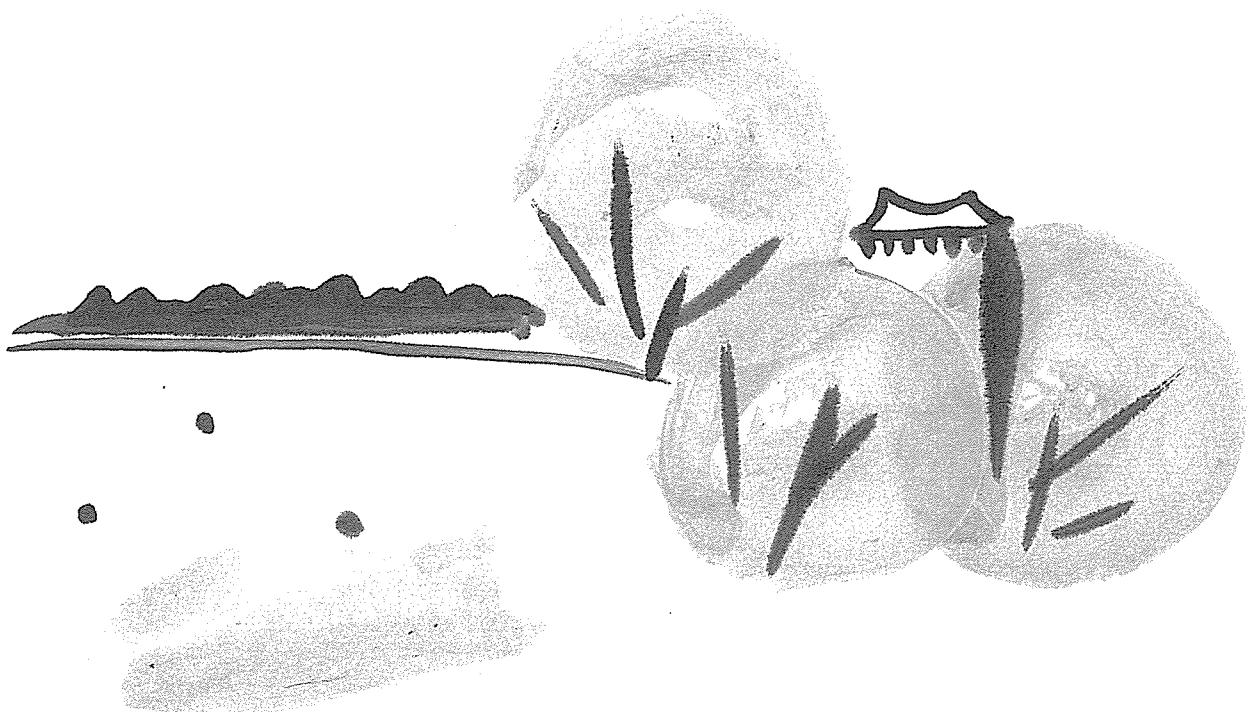
〒550 大阪市西区南堀江1-26 南堀江スカイハイツ1201号

☎ 06-543-0680

平成3年9月

第27号

Japanese Society of Commercial Space Designers



目 次

■ 表紙	郷力憲治	表紙
■ サマーパーティー	大田 貞	3 ~ 4
■ 歴史的文脈を生かした新たな街づくり	浜田恵三	5
■ シカゴ最新見聞記	小宮容一	6 ~ 7
■ この秋冬“ファッショ”の傾向	猪多 勉	8
■ 地中海イタリア食文化について	大石 淳	9 ~ 10
■ 人、住まい色模様	岡 修作	11
■ 企業紹介 <㈱タジマ>	斎藤芳一	12
■ インフォメーション	情報委員会	13
■ 委員会だより		14

■ 広告索引

マックスレイ株式会社	3
株式会社キノシタ	4
大光電機株式会社	8
松下電工株式会社	15
小泉産業株式会社	表紙裏
近藤忠商事株式会社	裏表紙

KOIZUMI
Kojzumi
Kojzumi Living Showroom
Osaka

TEL: 06-6340-1212
FAX: 06-6340-1213
■北大阪地区にて「新規小売店舗」販促
実施行います。お問い合わせ「新規小売店舗」下さい。

サポートします。あなたの快適創造空間。

KOIZUMI くらしのショールーム／イズム・エル 大阪
大阪・箕面に隣接、駅直・キッチンをトータルに展開した、くらしのショールーム／イズム・エル 大阪がオープン。今までとは異なる、体験を重視したショールーム構造で、空間クリエーターのニーズにも充分お応えできる情報を準備しています。
ぜひ一度、お越しください。

Kojzumi Living Showroom
Osaka

iZM

小泉産業株式会社
事業部番号: 06-6322-0201
平井 大阪府守口市守口町3丁目3番
東 営業部: 06-6358-0100
営業 電話番号: 06-6358-0100

サマーパーティー

(PANORAMA BEER RESTAORANT)

オオタ商業計画事務所 大田 貞

「ここからなら、きっと未来の見晴らしもいいに違いない。」という宣传文句に誘われて、7月31日、松下IMPビル26階、PANORAMA BEER RESTAORANTに会員、賛助会員60名余が集まって平成3年ビアパーティーが開催されました。

会場はさすがにうたい文句に読めるだけのことはあるすばらしい眺めであり、大阪では唯一近代都市を感じさせるたたずまいと緑豊かな大阪城公園との組み合わせにより、街を造る仕事をしている人達にとっては憧れと焦りを感じさせるものであったと思う。▼馬田組織委員長の挨拶

そうした景観もさることながら、眼下に見える大阪城ホールでは、折しも、有名なコンサートでも開催されているのではあろうか、色とりどりのファッション（あまり小さいのでかたちは分からぬが）に身を包んだヤングレディーと思しき人達が大阪城公園から石畳を歩いていく様は、公園の緑、平野川の川面（遠目には美しい）との対比（マッチング）によって、日頃のドブネズミ生活から脱皮した、豊かで楽しさのある、新しい大阪に触れさせてもらった気がする。



また、夜ともなれば、大阪城のライトアップに浮かび上がった姿を目の当たりに見る夜景は素晴らしい、大阪もよいものだとの実感を再認識させるものであった。

6時頃から集まり始めた参加者の顔ぶれについては、小生の認識違いから男ばかりの不粋なものであると思っていたが、多いなる見当違いで、ヤングレディーも多く参加しており、中には目を見晴らせるファッショニの人もおり、ビアパーティーにふさわしいものであった。

パーティーの進行については支部長、委員長の挨拶に始まり、賛助会員の紹介、挨拶が賑々しくつづき、ビールも適当に入ったところでパーティーのメインイベントとなった。メインイ



▲会場風景



maxRAY

A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社 ■本社/大阪市城東区鶴野西2-18-6 〒536 TEL(06)967-0140

TOKYO (03)3791-2711

OSAKA (06)967-0123

KYOTO (075)255-5663

NAGOYA (052)252-9556

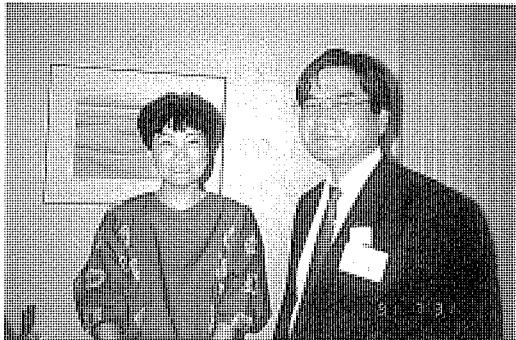
FUKUOKA (092)431-7824

ベントは例年のごとく賛助会員各社からの景品の分配であるが（小生だけがそう思っているのかもしれない）今回はこれを組別のクイズ回答による順番としたことから、設問が興味のあるものであったことも手伝って、各組とも回答をめぐって、「あ、だ」、「こうだ」とその賑やかなこと！　まさにビアパーティー向きのイベントであった。



▲最近多くなってきた賛助会員の女性のみなさん

もう一つの主題であるメンバーの交歓については目指す相手が予想に反して不参加が多く、少々不満であったが、そこはそれ、参加者に賛助会員の女子が多くいたことから、ある種の期待感を持つことができ、充分楽しむことが出来た。



▲受付でのツーショット

しかし、例年こうした交歓パーティーにて思うことは、いつもながら正会員の方々の参加が極めて少ないことであり、こうしたよい機会を利用して会えないものかと思うものである。

最後、組織委員会の方々の尽力に感謝するとともに、歳忘れパーティーに期待する次第です。



▲乃村工藝社の名物トリオ 美女と○○

abord —永遠の定番—

KINOSHITA 株式会社キノシタ

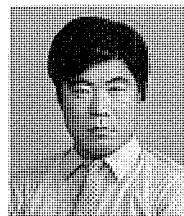
●本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 TEL.06(644)5541代
●東京支店 〒123 東京都足立区西蒲原5-5-18 TEL.03(855)4711代
●名古屋営業所 〒458 名古屋市緑区名古屋2丁目264 TEL.052(624)6660代
●東大阪商品管理センター ●商品管理センター出雲工場 ●出雲営業所

—ヨーロッパの新しい風— **RES NOVA 21**

RES NOVA 21 Co.,Ltd.
ADDRESS: Matsushita IMP Building 2F 1-3-7 Shiromi, Chuo-ku,
Osaka TEL.06(943)5193

〈歴史的文脈を生かした新たな街づくり〉

ジア・デザイン神戸 所長 浜田 恵三



近年、経済効率性を優先した画一化・均質化による街づくりの反省を込めて、その地域の歴史的、伝統的街資産を生かした街づくりが多く見られるようになってきている。

それは、人間と環境との関わりを重視した生態学的観念で捉えた街づくりの推進であり、その地域の歴史、伝統、文化、風土を掘り起こし、その街の歴史的景観や文化的建造物を保存したり、再生する手法である。

この手法は、地域に残る歴史的・伝統的街並みを保存したり、地域に残された歴史的・文化的建造物を博物館、物産館、各種資料館、郷土館などに再生させ文化的イメージを高め、その地域に根ざした固有の文化を掘り起こし古きよき街並み景観や意味付けのある商環境を訴求する街づくり戦略である。

街資産としての歴史的建造物の多くは中心市街地に多く残っており、長い間地域住民の心象風景として形成されてきたものであり、その街の象徴ともなりうる要素をもっている。これらの建造物に、価値を見出し新たな機能を持たせ再生することは、街づくりを考えるうえで重要な視座となる。

この良き範例は、滋賀県長浜市の中心市街地に見られる。今、長浜市は街をあげてこの歴史的・文化的街資産を生かした街づくりに取り組んでいる。それはまず、街のランドマークとして存在する歴史的・文化的資源の大通寺の参道としてある御堂前商店街を、近年「ながはま御坊表参道」として歴史性を活かした門前町通りに再生した。同時に、文化的施設として残っていた歴史性のある黒壁銀行（旧明治銀行長浜支店）に現代感覚を加味させ、ガラス館・レストラン等に再利用している。

さらに、歴史的に由緒のある北国街道の街並み景觀整備を始めるなど、地域の意味づけを活かしながら個性的な街づくりへ向けて、一步一歩商環境や景觀形成を見直した街づくりが展開されている。

同様に、これらの街づくりは、兵庫県篠山町

の中心商業地にも見られる。篠山町は、山陰道の要所として丹波の中心的役割を果たしてきた歴史的にも由緒のある城下町である。この歴史的・伝統的な街に近年、新たな街資産として田園交響ホール、特産館、歴史美術館、能楽資料館、青山歴史村等々の文化的施設群が建設された。これらと合わせて以前から当地域にある歴史的・文化的街資産としての篠山城跡、寺院、仏閣、武家屋敷群、城下町としての街並みなどによって新たな商業観光客の来街が見られるようになってきた。

そして現在、この中心商業地界隈に大型店の誘致も検討され始め、商業、文化、観光施設が複合された街づくりが確立されつつあり、中心商業地は新たな可能性を秘めた街へと再生され始めている。

このように、街づくりにおいては、経済的・物質的豊かさを享受しつつも、その地域の歴史、文化、風土といった「文脈」を見直し、精神的・文化的豊かさを目指した生態学への配慮ある商空間・商環境の創出が望まれていると言えよう。

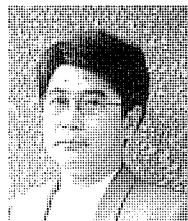


●黒壁銀行（旧明治銀行長浜支店）の再利用

NEWS・SPOT

シカゴ最新見聞記

芦屋大学 小宮 容一



6月9日より16日まで、(社)インテリアデザイナー協会の関係で、シカゴを訪ねました。2年に1度開催されるIFI(International Federation of Interior Architects/Designers)のシカゴ総会に参加いたしました。6日間の開期中オープニング、クローズィングのセレモニー有り、経済問題・教育問題のコングレス有り、建築・商業施設のミニツアー有り、毎夜、パーティ有りの、とても多忙で“アッ”という間のシカゴ滞在でした。また同期間に開催された家具見本市『NEOCON』の見学、シカゴ市内に残る、1880年末から現在に至るスカイクレーパーのウォッキングなどもこなして、いつもなくハードに歩き廻りました。

IFI関連では、次々会の大会(1995年)を名古屋で開催するという重要な決定がなされました。ウルグアイとカナダと日本が誘致していましたが、ウルグアイと1票差で日本(名古屋)が選ばれました。日本のインテリア全体がグレ

ードアップするにはとてもよいチャンスだと考えます。ぜひ成功させたいものです。いずれJCDにも協力の要請があるやもしれません。私からもJCD会員の方々のよろしきご配慮をお願いいたします。

さて、シカゴでの商業空間の現状を少し報告します。シカゴはミシガン湖西南岸の都市でアメリカの物流の中心地として栄え、大きくなつた都市です。現在では航空輸送や通信情報の発達で、東のニューヨーク、西のサンフランシスコ等におそれがちのように見うけられました。その分、市としては空港の拡大充実、マーチャンダイズ市場の充実、コンベンションセンターとしての施設、ノウハウの充実を図っています。近年、市の商業中心はシカゴ川の南地区、ステート通りから、川の北地区、マグニフィセント通りへと移っていく様子です。ステート通りは建築物も古く(1890~1920頃)また、各デパー



『シカゴ・シティ』外観

『シカゴ・シティ』8階カフェテラス

—NEWS・SPOT—

ト、ロードサイドのショップも心なし活気にとほしく思われました。それに比べるとマグニフィセント通りは、再開発的手法で近代、現代の建築物があり、観光客なども多く、ショッピング複合施設のウォーター・タワー・プレイス、マーシャル・フィールドデパート、ロードアンドテーラーデパートなど、またロードサイドショップも結構、賑わっていました。通りの中ほど西側のショッピングモールの『シカゴシティ』は最も新しいものです。写真①がその外観です。8階建てで、エレベーターホールが最上階まで吹き抜いています。最上階はガラス張りのドームで、ジャングルのようなカフェテラスとなっています。テラスの廻りにテイクアウトの飲食店舗が10店舗ほどあり、ここで買ってテラスの木陰で飲食するのはなかなか粋な雰囲気です。日本の百貨店の上層階レストラン街や、商業ビルのグランドフロアのテイクアウトフードコーナーと異なって、太陽の光と緑と天井の高い大空間がとても心地よいものとなっています。

次に紹介しますのは、御多分にもれないウォーターフロントの商業施設です。場所は、シカ

ゴ川北側、ミシガン湖からの引き込み湾(Ogden Slip)に面しています。レンガ倉庫再開発風の商業施設『ノース ビア シカゴ』です。(下図) 3層を使ってショップ&ギャラリーが45店舗、ダイニング&エンターテイメントが24店舗入っています。内部は大きな木材や鋼材などを使い、倉庫風あるいは木造風なスタイルとなっています。ショップの客層は昼間はヤング層、夜間のダイニング、特にスリップに張り出したテラスやデッキはアダルト層の客で賑わっていました。

シカゴツアーでの商環境的印象としては、日本人の買物システムと買物習慣が、アメリカ人のそれとはどこか異なるところがありはしないか。例えばシアーズに見られる広大なアメリカ大陸をカバーする通信販売、郊外型で車型のスーパー・マーケットでの買い物の習慣と、日本の毎日こまめに市場で買物し、ちょっと足を延ばしてデパートや商店街で楽しく買物する習慣とは、やはり違いがある。そのような違いがショップの構え方、ショップデザインの違いとなってはいないか、などと考えるシカゴツアーであり、今後に課題を残しました。



この秋冬“ファッション”的傾向

(株)オリジン 猪 多 勉



強い女性から優しさへの女性の変化、より楽しく着心地の良い新しいカジュアルへと移行しつつあります。

女性の社会進出と共に肩肘の入ったファッションがこれからは自然な女らしさを強調する様、よりセクシーに、より女らしさ、よりロマンチックさを表現する物が多く出て来ています。

そしてその傾向はタウンウェアから活動的なスポーツウェアまで進んでいます。

さらに商品の高級化、高品質化が進み人々は生活の見通しを計り、ライフスタイルのベースに成っている、“実用的なアイテム”に今迄とは違った楽しさを求めていました。今迄の年月をへな

がらよりみがき上げられた素材、着心地、仕立てなどの“本物の物作り”の良さをもった“トラディショナル”なものが再認識されている。

そして作られたトラディショナルなベーシックアイテムはクローゼットの中にあって新しいファッション商品や従来自分がもっている商品を自分なりにコーディネートしやすく自分のワードローブをいつも活性化する事が出来る。物作りという面においてベーシックアイテムだけでなく幅広いアイテムとトラディショナルへの回帰は益々進行して来ると思われる。



あかりのトータルクリエイター。

各地に洗練の光空間を創造する、あかりのトップランナー、DAIKO。

あらゆる照明空間をトータルにプランニング。

ベーシック照明から舞台照明、サイン計画まで、

DAIKOは、多様なニーズに適確に対応します。



DAIKO
大光電機株式会社

本

社／大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル TEL537

☎(06)972-5555・代

特機営業本部／大阪市東成区中道3-15-16 每日東ビル TEL537

☎(06)972-5551・代

「地中海イタリア食文化について」

株大丸関連事業本部 事業開発室 大石 淳

一時のブームは落着きましたが、まだまだ人気の根強いイタリア料理について、あれこれと書いてみたいと思います。

まず、歴史的にみますとイタリア料理は、古代ローマ帝国における貴族達の食文化が原型となっているようです。その後十字軍の遠征やヴェネチア商人などの交易により、エジプト、イスラム、中国などの食文化を吸収していきます。15~16世紀にかけてはルネサンスの波を受け食文化も大きく開花し、また大航海時代には新大陸アメリカの農産物やインド、東南アジアの香辛料が新しい食材として加わります。そして中世以来ミラノ共和国、フィレンツェ共和国、ローマ法王領、ナポリ王国など地方自治都市国家として独自に発展してゆき、食文化もそれぞれ郷土色豊かなものとなりました。

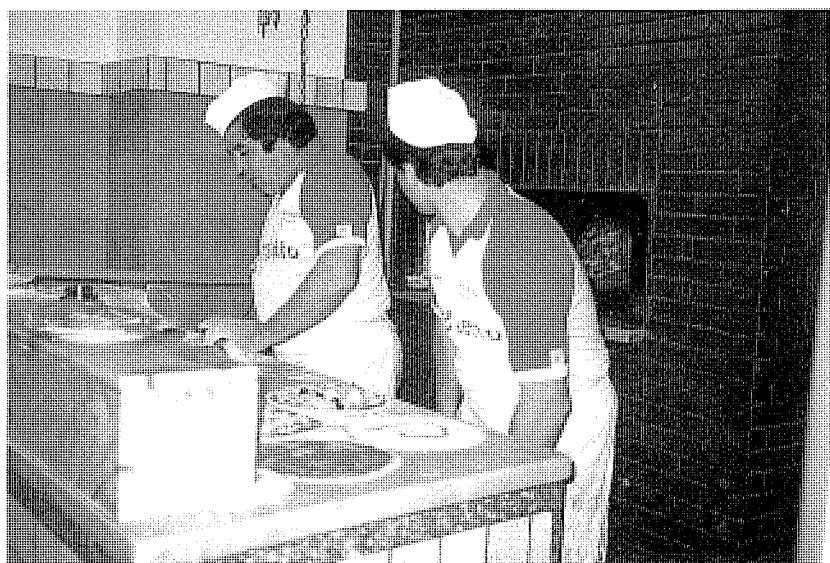
さて、次に地理的にみると、各地方の産物と料理はイタリア全土を北部、中部、南部と大きく三分して、それぞれ特徴をはっきりと持っています。

アペニン山脈とアルプス山脈に囲まれた北部地方では、昔から酪農が盛んだったためバター、クリーム、チーズなど乳製品をたっぷりと使っ

た濃厚な味の料理が多い。パスタは手打ちの生麺が多く、リゾットなど米料理も発達している。肉料理は牛肉の煮込みなど煮込み料理に豊富なメニューが見られるが、魚料理は内陸に位置することからあまり多くない。北部の代表的な都市としては、ミラノ、ベネチア、ボローニャ、ジェノバなどがある。

ローマ、フィレンツェを含む中部地方では、北部と南部からの影響が溶けあい、素材を生かした比較的あっさりしたものが多く、調理油はオリーブ油を中心に使う。ローマ風ニヨッキや仔牛肉にセージ、生ハムをのせて焼いたサルティンボッカなどが肉料理として有名。魚介の煮込み料理や様々な豆料理にも特徴が見られる。またパスタは手打ち生麺と乾燥パスタの両方が使われる。

ナポリを中心とする南部地方はトマト、なすなどの野菜や、ムール貝、たこなどの魚介類に、香辛料や香草を使って変化に富んだ料理が作られる。特にトマトをふんだんに使ったソースは様々料理に幅広く用いられる。パスタは乾燥パスタが中心でピッツアとともに食生活において



食

大きな位置をしめている。

イタリアのレストランには次の様にいろいろな種類のものが上げられる。

(1) リストランテ (Ristorante)

アンティパスト、パスタにスープ、魚料理、肉料理と一品料理を分けたメニューを持つ高級レストラン。

(2) タヴェルナ (Taverna)

昔は旅館の食堂や旅行者向きの料理店だった。現在ある料理店はほとんどがこれ。

(3) トラットリア (Terattoria)

セットになった日替りの定食が中心の家庭的な雰囲気の店。

(4) ピッツェリア (Pizzeria)

ピツツアを中心とした軽食堂。

(5) スパゲッテリア (Spaghetteria)

スパゲッティを中心とした軽食堂。

(6) バール (Bar)

サンドイッチのつまめる居酒屋。

イタリアンレストランでのメニューの読み方。

Antipasto (アンティパスト)

前菜のこと。ハムやサラミソーセージや魚介類のサラダなど。

Pasta e Minestra (パスタ・エ・ミネストラ)

パスタとスープ、この部分をプリモ・ピアット (第一の皿) といって、パスタ、リゾット、スープなどの料理が入る。

Pesce (ペーチェ)

プリモ・ピアットに続くセコンド・ピアット (第二の皿) メインデッシュの中の魚介料理。

Carne (カルネ)

セコンド・ピアットの中の肉料理。

Formaggio e Dolce

(フォルマッジョ・エ・ドルチェ)

チーズとデザート。食後のひとときをワインとチーズで楽しんでから、甘いデザートやフルーツをいただくのがイタリア流のしめくくり。



住 人、住まい様色模様

(バブル、リクルート玉突き現象)

松下電工(株) 岡 修作



バブルはじけて、金融業界、不動産業界は大騒動。どうも最近の世の中は、原因と結果という単純なストリーは成り立たなくなっているのでは?どこかがおかしくなれば玉突き宜しく各方面に影響が出るらしい。

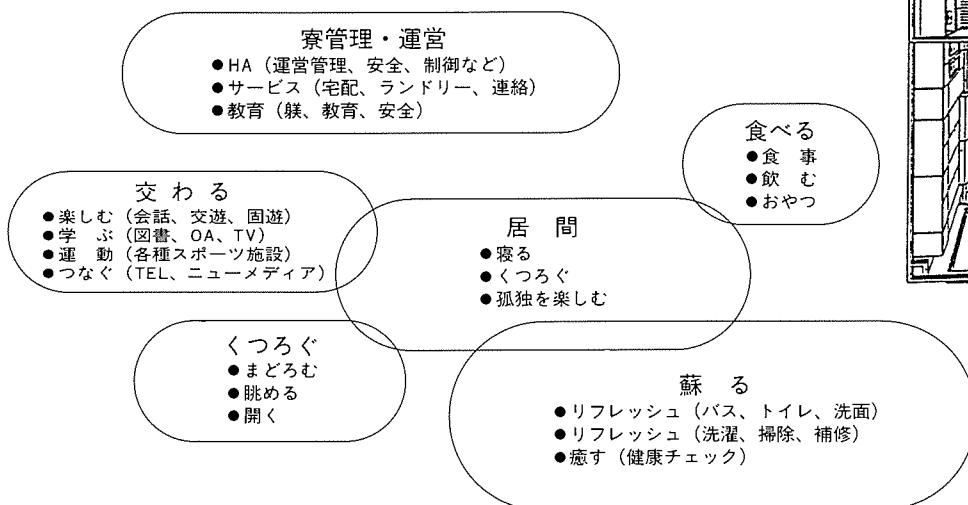
勿論、今回のバブル騒動は、金融業界と不動産業界の共鳴によって更に大きくなっているようと思われる。マンションも億ションのような高級物件は特殊なものを除けば、急減速、また、戸建て住宅も高級物件は減速状態。その原因は、述べるまでもない。ところがである、そんな建築業界にも活況を呈している分やもある。その一つがホテルの建設ラッシュで、新築が活況になれば、既設のホテルがリニューアルを計画。

現在80,000室の計画が進行中。

一方、リクルート対策に頭を傷めている各企業の面々は、バブル騒ぎ所ではなく、優秀新人の採用に躍起となり、あの手この手の秘策を練って頑張っている。その中で急浮上してきたのは、福祉、厚生面の特徴付けとなった。その代表は、寮、社宅の建設ラッシュで、リゾートホテルのような独身寮が続々と登場。

考えて見ればバブルの中で、都市生活者は住むことそのことに絶望感さえ持ち始めていた。独身者と言えども、自分がどのような空間で生活出来るのかは、重大関心事である、ホテルも又、マルチモビリティーの人が住む空間として

寮の運営、生活要件



の一断面であり、殺那的であるが、住まい様、生き様の現代的な現象と見えてくる。

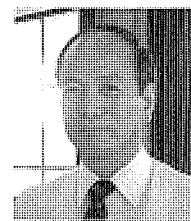
私は、今、仕事の関係で、独身寮のコンサル提案活動が、昨年の春より急に多くなってきた。その活動の中で思うに、独身寮づくりは、各企業にとってリクルート対策のように見えるが、その中に企業人が抱えている、企業としてのありよう、思いが、時代の激流の中で様々に変化

し、様々な考えの「寮」づくりが行われている。一部マスコミでは、デラックスドミトリーの紹介が、行われているが、実状はもっと企業としての思いに悩む寮づくりがはじめに行われているのも事実である。所詮人の住みようは「うたかた」のようなものかも知れない。こだわっているがこだわり切れないのかも。

企 業 紹 介

未来にむかってタジマはタジマであり続ける

株タジマ 斎藤 芳一



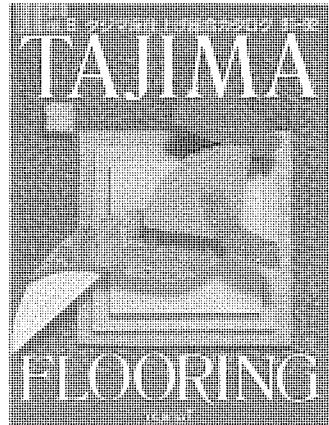
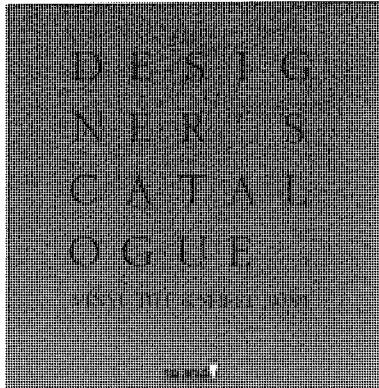
代表的な床材として一般の人々にも広く知られているPタイル。タジマが業界に先駆けて開発した塩化ビニルタイルの商品名だが、現在すっかりプラスチックタイルの代名詞として使われている。

Pタイルという今日のタジマの原点ともいいくべき商品誕生後も、より新しい床材を求めて日々研究開発に努め、各種プラスチック床材の開発はもとより床材用接着剤、下地づくり等関連商品の開発も手がけている。数々の製品は海外でも高く評価され、1987年にはアメリカ、リソース、カウンシル協会の主催するロスコー賞でグランプリを受賞。タジマの名は海外でも広く知られ建築物の床を支えています。今日もタジマは時代を先取りした“床”創りに邁進、特殊機能を付加した床材やデザイン性を高めるためのシステム開発、床改装システムなど常に業界をリード。床の明日を見つめ、新しいメッセージを持った床づくりを続けるタジマは、多くの建築関係者の共感を呼びジャパンショップで昭和61年以降4年連続受賞という栄誉に輝いている。これも時代が求めていた床「Pタイル」を完成させたタジマの床づくりの姿勢が、今も変わら

ことなく脈々と受け継がれているからといえる。

商業施設用床材は、クレーシュートーンを基本に自由な材料選択と自由なデザインを可能にしていただくようシステム開発し、実際に組み合わせヒントパターン集(約100パターン)を通しフロアデザインの拡がりを提案してまいりましたが、今年タジマフロアプランニングセンターの設立を発表いたしました。

フロアプランニングセンターは空間演出の大変な役割を担う床計画において、皆様のヘルパーとして、よりよい環境づくりのための提案が出来るよう努力を重ねてまいりたいと思います。床材メーカーの立場で床計画のお手伝いをするタジマフロアプランニングセンターに皆様のご理解と絶大なるご支援をお願いいたします。



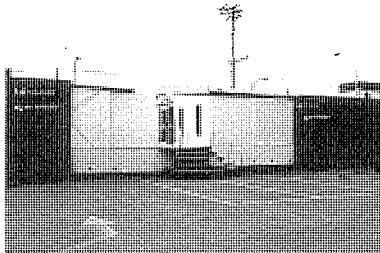
— インフォメーション —

〈営業情報〉動くあかりのショールーム

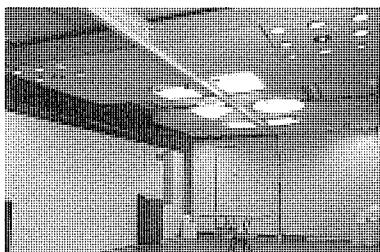
「ライティング・セボアール」リニューアルしてスタート

今回の移動ショールーム「ライティング・セボアール」の構成は下記のとおり。

- 広さ (ショールーム内) 55坪 (181.5m²)
- ショールーム大きさ 幅21m×奥行き12.5m×高さ3.8m
(11トントラック 2台 +
4トントラック 1台分)



- 商品展示 約400点
- 照明の体感コーナー あかりのシーン36パターンが体感できる



- スライドコーナー 最近の住宅インテリアとあかりの使い方を見せる

- ビデオコーナー 照明講座 (基礎知識と設計手法)

- コンサルティングコーナー 照明プランニングサービスの実施
この「ライティングセボアール」は、大型トラック3台 (展示車11トントラック2台、伴走車4トントラック1台) で編成され、

5名のスタッフで全国を巡回します (開催中はプランナーなども参加し、約10名のスタッフで運営)。

当社では1992年3月末 (1991年度末) までに「ライティングセボアール」を、全国75会場に開設する計画で、来場者数は全体で5,000名を見込んでおります。

第二回「OLD & NEW」探訪会

(彦根城と湖東三山めぐりご案内)

日 時 平成3年11月30日 (土)
(集合 AM8:50 出発 AM9:00)
行 き 先 彦根城 (10:30~11:30)
(予定) 登 食 (11:40~13:30)
龍澤寺 (12:40~13:10)
多賀神社 (13:30~14:00)
西明寺 (14:10~15:00)
金剛輪寺 (15:10~16:00)
百濟寺 (16:10~17:00) 帰 途
○時間の都合により、行き先変更することもあります。

前回の今井町に引き続き、第二回目として上記「彦根城と湖東三山めぐり」を企画致しました。情報委員会の取材を兼ね日ごろなかなかたずねる事のできにくいところを仲間同士で楽しく、意義深く訪ねたいと企画しました。ぜひとも多数ご参加くださいますようお願い致します。

会 費 高速料金、ガソリン代、
入場料 (約5,000円予定、食事代別)
(尚、車は、要委員長及び、その他の方にお世話になります。)
申し込み先 JCD関西支部 ☎ (06)543-0680
締め切り 11月8日 (土) (早い目に)

大阪デザイン団体連合

USD-O/JDF・10周年記念

(財)国際デザイン交流協会

大阪と世界を結ぶデザイナー'91

申し込み先 JCD関西支部 ☎ (06)543-0680

◆記念講演会 (入場無料)

12時30分開場・13時開会

近畿銀行本店4階

大会議室

(主催:財団法人国際デザイン交流協会)

10|4

◆記念交歓会 [金]

17時開場

17時30分開会

大阪東京海上ビル地階

サンクンガーデン

◆参加費 10,000円

PART・1入場整理券および
国際デザイン展'91入場券付

委員会だより

予告

- アジア太平洋会議
10月21・22日〔ソウル〕
- JCD30周年記念集会
11月15日〔青山ダイヤモンドホール〕

FAX伝言板

JCDの審査員としてあるKさんが世界のどこを行かれてる。
どれくらいには行かないのかなあ…
さればJCD東西の七不思議のひとつだ！Y.E.

FAX 06-541-0064

各会員の皆様へのお願い

皆様のまわりのたくさん情報及び展示会やお知らせ等伝言板をご利用下さい。イニシャルトークによるおもしろうわさ話し等にもぜひとも参加して下さい。FAXがおまちしております。

組織委員会 平成3年6月21日(金)
時間 18:30~20:00
場所 JCDルーム
出席者 馬田、藤山、白井、南原、藤永、原川、金沢
オブザーバー 大菅支部長

情報委員会 平成3年6月28日(金)
時間 18:30~
場所 JCDルーム
出席者 要、大石
オブザーバー 大菅支部長

情報委員会 (委員長 副委員長)
平成3年7月26日(金)
時間 18:30~21:00
場所 JCDルーム
出席者 菅野(代理)、岡、久保、山田
オブザーバー 大菅支部長

西湖孤山樓外樓 三潭印月 月廻龍船 青樓燕子家家雨 杭州城西楊柳堤

表紙のことば——郷力憲治

編集後記

今回は原稿が早く集まり予定通り出来上りと思うやいなや、いつも印刷を依頼している日刊タイプさんから廃業通知が届き、どうしたものかと思案にくれていたところ太田理事のご尽力があって(有)ホクセイ印刷商会さんに依頼する事になりました。短期間の間に我々の意とするところを理解してもらい発刊するに至りました。“する神あれば、ひろう神あり”ですか…

山田 記

Nashop

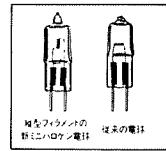
A&I
快適を科学します

ハイパワーで高品質な光を
体積比1/3のコンパクトボディに搭載。

光はパワフル&高品質に、
器具はより小さく、店舗
演出の最新トレンドに
ナショップが応えます。

新開発縦型ライメント

採用の新ミニハロゲン電球とマルチデザイン
ミラーで、照度を約25%アップしながら体積は
約1/3にコンパクト化(12V75W相当と10V12W)。同時に、
フィラメント軸とミラー光軸の一致がかつて
ない美しいパターン配光も実現。さらに電球、
ミラー分離設計で経済性も向上。デザインや
ビーム角で選べる236品種が気軽に登場しました。



ローポルトシリーズ

ミニハロテック

詳しいカタログを
お求め
ください。

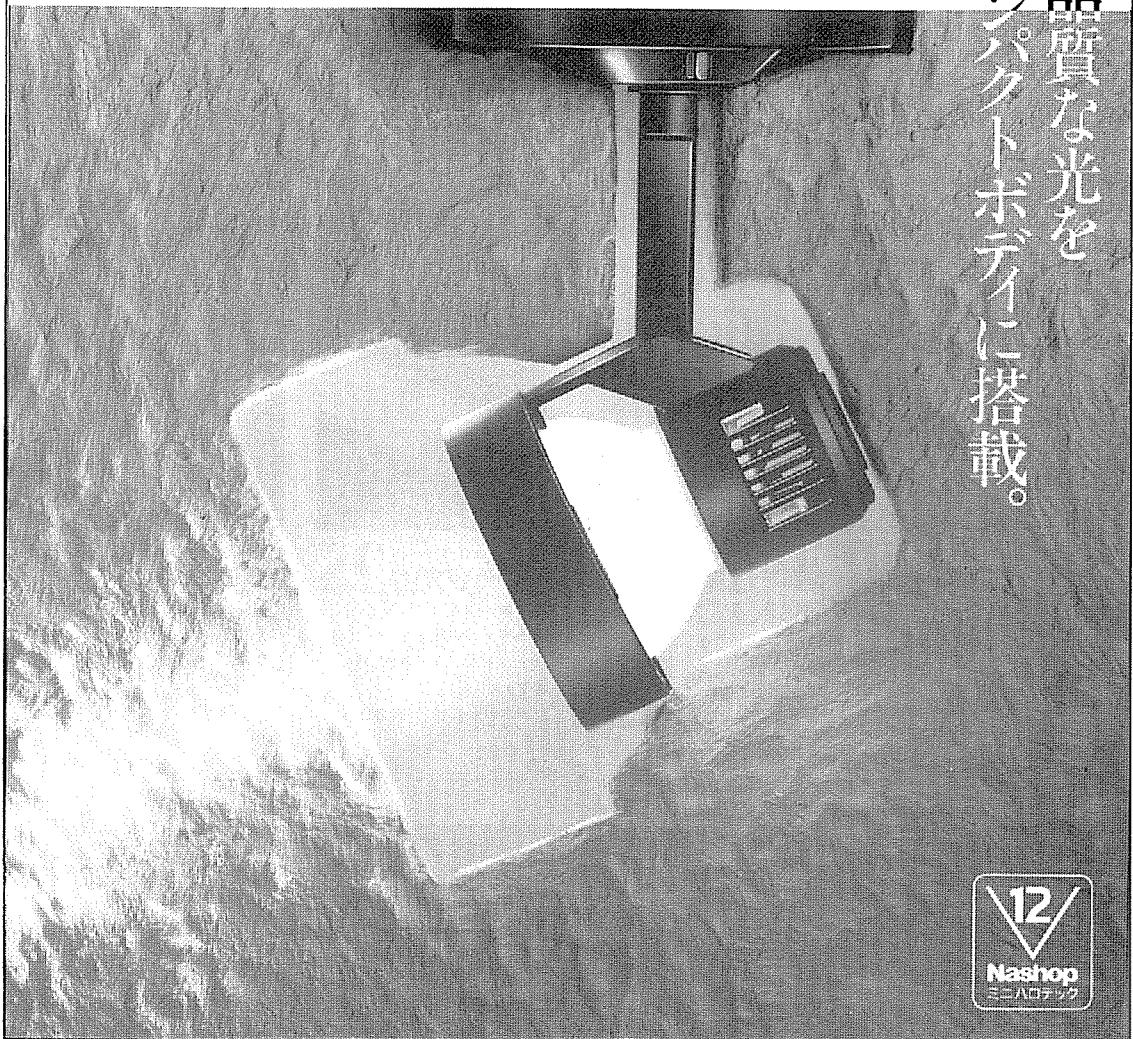
National
松下電工



75Wミニハロゲン電球
12V(12V用)配線タクト用
NL03726B
標準価格19,800円(税別)
ビーム角15度
ダイヤルオフティカルミラー
電子クワントランス内蔵



75Wミニハロゲン電球
10V(12V用)半埋込型
NL83716W
標準価格13,800円(税別)
ビーム角15度
ダイヤルオフティカルミラー
クワントランス別置型(別売)

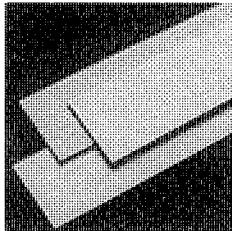


12
Nashop
ミニハロテック

EXA SERIES

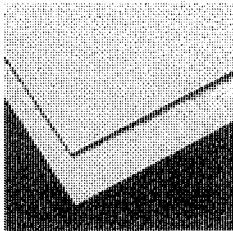
経済性の徹底追求より誕生した、エグザ。

高級感のあるグラデーション柄のウッド、石のもつ鉱物感を表現したストーン。表情豊かな4タイプ、43アイテムの塩ビタイル、エグザ。意匠性、カラーデザイン性を損なうことなく、使いやすいワイドバリエーションで、創造空間の可能性を広げました。



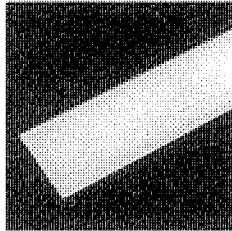
EXA エグザウッド30

■品番 CK8600(15アイテム)
■価格 (1m²当たり) ¥5,980
(ケース3.34m²入) ¥19,970
■サイズ(mm)
91.4×914.4×3(四方面取)
457.2×457.2×3
(柄、ボトマックチェリーのみ、面取ナシ)



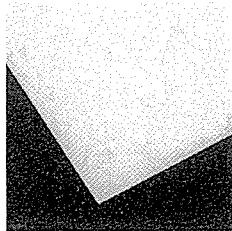
EXA エグザストーン30

■品番 CK2400(8アイテム)
■価格 (1m²当たり) ¥5,980
(ケース3.34m²入) ¥19,970
■サイズ(mm)
457.2×457.2×3(面取ナシ)



EXA エグザウッド25

■品番 CK8700(9アイテム)
■価格 (1m²当たり) ¥4,980
(ケース4.18m²入) ¥20,810
■サイズ(mm)
91.4×914.4×2.5(四方面取)
457.2×457.2×2.5
(面取ナシ)



EXA エグザストーン25

■品番 CK2500(11アイテム)
■価格 (1m²当たり) ¥4,980
(ケース4.18m²入) ¥20,810
■サイズ(mm)
457.2×457.2×2.5
(面取ナシ)

表示価格には消費税は含まれておりません

SELKON®

本店 神戸
支店 札幌・東京・横浜・名古屋・大阪・
広島・福岡
営業所 仙台・埼玉・千葉・多摩・静岡・
金沢・京都・岡山・高松・松山・
熊本・鹿児島

お問い合わせ・カタログ請求は
近森忠商事株式会社営業推進部まで

東京03・3294・1480
大阪06・201・2341